

「子育て日本一」の村へ 青森・西目屋村の挑戦

問 子育て施策の視察時に村長との懇談が実現し非常に感銘を受けた。高橋市長が就任して1年余だが、市長が市政運営で根っこにしているところの考えは。

答 職員との信頼関係や市民の皆さんの声を背景として、特色あるまちづくりを進めていければと思っている。

正木 きよし

新図書館の建設について 現状と今後の取り組みについて

問 現在の図書館についての認識はどのように持っているか。②新築から改修になった理由。③改修する場合増築も考えるべきでは。④図書館と公民館の部屋割りを見直すべき。

答 ①蔵書も限界で、人口にふさわしい図書館にリメイクできないか。②身の丈に合った計画とした。③利便性の向上に努めた上で視野に入れる。④今後、配置等を検討していく。

障がい者対策について

答 ①障がい者雇用の実態と今後の取り組みは。②障がい者宿泊施設(短期入所)の現状と今後の市の取り組みは。

答 ①市としても取り組みを一層強化する。②様々な視点からサービスの充実にも努める。

グランドメゾン泊江の 周辺道路(西側、北側) の市の対応について

問 ①西側、北側の道路も生活道路であり安全第一に考えるべきでは。②西側、北側は通学路に指定されている。その対策は。

答 ①歩行者の安全、特に子供たちの安全を第一に考えている。②工事期間中は臨時通学路で対応した。

太田 久美子

増加する「心の病」への 対策について

問 ①増加する心の病への対策は市も本気で取り組むべき。②心の病にかからないようにするための組織体制、施策は。③市民の健康を守る市長の政策と考え方。

答 ①様々な面からの支えが必要であると認識。②情報提供や普及啓発が大切と考え、社会的に気づき支えていくことが肝要である。

義務教育での学力向上 について

問 ①学力調査から見えてきた課題にどのように取り組むのか。②小学校と保育園の連携についてのその後の対応は。③一層の学力向上のための調査・研究を。

答 ①言語活動の充実など学力向上の取り組みを進める。②校長・園長の連絡会開催、教員の保育園研修など。③学力調査実施、市講師配置、指導力向上に向けた支援などを行う。

教育委員会制度の あり方について

問 ①市の教育委員会は開かれていないのか、教育長の見解は。②アレルギー事故報告が遅れた理由は。③「教育長に責任と権限を一元化する」などの教育委員会改革の市長の考えは。

答 ①教育委員会全体で開かれた教育行政の推進に努める。②開示すべきと判断し改めて集計し報告。③機能は十分でないが果たされている。現在の教育委員会を支えていく。

辻村 ともこ

防災センターへ市民活用 充実のため、防災学習 交流センター導入を

問 ①体験型防災施設は防災意識向上施策として有効か②防災センター会議室は市民が申し込めるか③AED体験会は検討できるか④HUG、DIGの活用を促めるべき。検討している。⑤市が行う会議に使用する。⑥できる。⑦まなび講座や避難所運営協議会などに

答 ①有効なものとして認識している。②市が行う会議に使用する。③できる。④まなび講座や避難所運営協議会などに

情報提供していく。

「はだしのゲン」の問題

問 ①多感な低学年の子供に、女性に暴行するシーン等ショックを与えないか。教育上必要か、適切か。②蔵書のバランスを取る事、学校教育、図書あり方について所見は。

答 ①内容が難しく、一部の描写に過激な場面もある。②発達段階に応じた課題に配慮、豊かな心や多面的な見方・考え方が育めるようバランスの取れた選書に努力する。

山田 たくじ

災害への備えについて

問 ①市総合防災訓練について新市長の新たな取り組みとは。目標とするところは。②防災センターの役割は。③情報格差からくる要援護者対策は。

答 ①自衛隊参加、他自治体との連携による実効性のある訓練②災害対策本部を設置し様々な対応を行い被害を抑制する③地域の人脈を活用した情報伝達を図るよう協力を求める。

まちづくりについて

問 ①市民憲章の制定の背景、位置づけ。改正の可能性は。②景観についての考え方。

「泊江のまち―魅力百選」の活用方法は。③まちの活性化のため地区ごとの競争を図るべきでは。

答 ①市民意識の高揚を図り、市民の心のよりどころとする。議論する場を検討②まちづくりに必要な要素。学校教材やまちづくりの原資として活用③地域のアイデアを取り入れる。

学校教育(特に市内の 小・中学校)について

問 ①小中一貫校と小中連携の違いと本市における検討状況は。②コミュニティスクール(CS)とは。国の方針は。③小中連携やCSの目指すところを既に実施しているか。

答 ①教育課程が9年間同一か小・中学校それぞれか連携は計画で明文、一貫教育は検討を開始。②地域が運営に参画。拡大を推進。③健全育成や学力向上の取り組みを実施。

吉野 芳子

市民の健康に寄与する 多様な「食」の提供を

問 ①小学校給食委託化でも配慮すべき点②手づくりの徹底、環境や健康のための石けん使用の継承は③市民の食堂のメニューの工夫④高齢者配食の意義と効果⑤今後の展望。

答 ①質や安全に十分配慮②現状と同様に継続③アンケート等を実施しアイデアを把握する④食事づくり困難者に対する支援、見守り⑤制度改正に

あわせ対象者等の検討が必要。

質向上のために民間委託の実現と市民力を生かした保育の充実を

問 ①保育園民営化の市の考えは②第三者評価での改善点③福岡浩彦氏の講演はどう生かすか④保育ママに対する市の支援策は⑤多様な保育形態としての自主保育への市の考えは。

答 ①子どもの最善の利益を考慮②職員連携、保護者との信頼関係、小学校との連携の向上③質向上とコストのバランス④保育園と連携、補助制度活用⑤市民の力を感じる。

放置自転車の効率的で 戦略的な対策と災害時の 安全な水の確保を

問 ①放置自転車対策事業の業者選定の内容と被雇用者の労働環境の把握②小田急電鉄との協議連携③課題と解決方法④中空系飲料水製造装置の市の認識⑤町会等での分散備蓄を。

答 ①書類を提出させ、内容確認②連携して取り組みたい③放置自転車がなくならない。粘り強く進める④浄水器としては手軽なもの⑤備えていたと自動・共助が広がる。

市原 広子

喜多見計画に生かせな かったまちづくり条例 改定構想段階の協議

問 ①電研跡地開発等控えその条項改定は急ぐべきだ

った②土壌改良工法の説明責任担保を③専門家に相談できるまちづくりサロンを市内に④買い物難民地区に商店誘致は可能か。

答 ①条例の制定には慎重な手続が必要。26年4月施行を目指す。②今後検討する。③検討していきたい。④商工会が実施主体での誘致は、極めて困難。

住宅政策が階層性をつ くった。泊江の住宅政 策と現役世代支援は

問 ①住宅マスタープラン改定議論を進めるべき②都連動政策の積極的取り組みを③福祉的住宅政策に取り組みべき④都営住宅若者世代向け期限入居募集広報をしていないようだが。

答 ①平成26年度から改定作業を行う予定。②住宅施策は東京都地域住宅計画に基づいて実施している。③財政的余裕がない。行財政改革が必要。④周知に努める。

保育園民営化はコスト 削減でなく子育て支援 の量質拡大なのか

問 ①保育捕捉率50%には幼稚園の協力が必要。預かり保育目標進んだか②産休明け100%受け入れは③障がい児保育積極的受け入れは④民営化の前に市民参加で政策構築を。

答 ①19時までの延長は進んでいない。②4月に待機児童が出ている現状では難しい。③人員等を検討し関係機関と連携し取り組む。④市民参加は過不足なくやっている。